

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名		てらびあぽけっと札幌福住教室						
公表日		2026年 2月 20日						
利用児童数		24名	回収数	22名				
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21件	1件	0件	0件		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21件	0件	0件	1件		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20件	2件	0件	0件		環境構成の意図が伝わるよう、掲示や説明方法を工夫します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22件	0件	0件	0件		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21件	1件	0件	0件	私の気が付かない良い所をたくさん見つけて頂いています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21件	1件	0件	0件		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21件	1件	0件	0件		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21件	1件	0件	0件		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21件	1件	0件	0件		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21件	0件	0件	1件		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15件	2件	1件	4件		教室の指導形態を踏まえ、地域交流に対する対応について検討します。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22件	0件	0件	0件		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22件	0件	0件	0件		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14件	0件	0件	8件	関わりや状況アドバイスをたくさんいただけてとても参考になっています。	家族支援や研修情報を、おたよりやSNS等で定期的に発信します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21件	1件	0件	0件		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21件	0件	0件	1件	いつも私達家族の悩みに対して、時間を取って丁寧にアドバイスしていただいています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22件	0件	0件	0件	安心して相談できます。 子育ての悩みをいつも聞いて頂いて感謝しています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7件	2件	1件	12件		ニーズを確認し、必要に応じ交流機会の実施を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19件	1件	0件	2件		相談しやすい体制について、改めて分かりやすく周知します。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22件	0件	0件	0件		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20件	0件	0件	2件		活動内容や支援の様子を、引き続きブログやインスタ等で発信します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21件	1件	0件	0件		
非常 時等 の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12件	0件	0件	10件		マニュアルの閲覧方法や内容を、改めて周知します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5件	0件	0件	17件		避難訓練の実施状況を、おたより等で分かりやすく伝えます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20件	0件	0件	2件		安全確保の取り組み内容について、引き続き丁寧に説明します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19件	0件	0件	3件		事故・怪我時の連絡と説明について、より明確に説明します。
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21件	1件	0件	0件	いつも、通所を楽しみにしています。 毎日「てらぽけに行きたい」と言っています。 のびのびと楽しんでいるようです。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21件	1件	0件	0件	うちの子は喋れないのでわからないのですが、いつも楽しそうにしています。 「今日はてらぽけだよ」と言う喜びます。 親身にアドバイス頂いています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21件	1件	0件	0件	毎回温かく迎えてくださり感謝しています。	

事業所における自己評価結果

公表							
事業所名		てらびあぼけっと札幌福祉教室					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4件	0件	安全面を考慮し、玩具配置等を職員間で定期的に確認しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4件	0件			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4件	0件	バリアフリー環境を整え、安心して過ごせる空間づくりを行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4件	0件	毎日清掃・消毒を実施し、清潔な環境を維持しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4件	0件	個室を活用し、落ち着いて支援を受けられる環境を整えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4件	0件	職員間で定期的に話し合いを行い、業務改善に取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4件	0件			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4件	0件	振り返りの場を設け、意見交換や不安の共有を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4件	0件			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4件	0件	月ごとにテーマを設定し、職員研修を実施しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4件	0件	日々の療育内容について職員間で相談しながら実施しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4件	0件	療育記録やデータを共有し、多角的に支援内容を検討しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4件	0件	職員全員で意見を出し合い支援内容を決定しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4件	0件			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4件	0件			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に	4件	0件			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4件	0件	活動プログラムは職員全員で意見を出し合い立案しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4件	0件	支援内容が固定化しないよう、記録やデータを基に工夫しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4件	0件	個別活動と小集団活動を組み合わせ、状況に応じた支援を行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4件	0件	支援前に打合せを行い、役割分担を確認しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4件	0件	支援後に振り返りを行い、終礼で情報共有しています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4件	0件	療育データや日々の様子を記録し、支援の検証に活かしています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4件	0件			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4件	0件			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4件	0件	園との情報共有を行い、個々に応じた支援につなげています。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4件	0件	保護者の依頼に応じて園を訪問し、支援内容を共有しています。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0件	4件		園との連携を継続し、就学先への情報共有を丁寧に行います。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3件	1件		必要に応じて外部機関と連携し、支援の質向上を図ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4件	0件		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4件	0件		
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4件	0件		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4件	0件		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4件	0件		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4件	0件		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4件	0件		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	0件	4件		ご家族のニーズを確認し、交流機会の在り方を検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4件	0件		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4件	0件		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4件	0件		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4件	0件		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0件	4件		地域状況を踏まえ、可能な取組を段階的に検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4件	0件		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4件	0件		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4件	0件		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4件	0件		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4件	0件		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4件	0件		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4件	0件		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4件	0件		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4件	0件		

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名	てらびあぼけっと福住教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 10日 ～ 2025年 10月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 10日 ～ 2025年 10月 20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を中心に、支援計画に基づいたマンツーマンの療育を行っている。	担当職員が固定化しないよう配慮し、実施した療育内容やプログラムを記録・共有しながら支援の質の維持を図っている。	療育手法や教材の情報収集を行い、外部研修等も活用しながら支援内容の幅を広げていく。
2	個別療育・小集団活動・リズムワーク等を組み合わせ、見通しを持って活動できる環境を整えている。	小集団活動では異年齢でも協力して取り組めるよう、ゲーム性を取り入れ、達成感を得られる活動構成としている。	発達段階に応じた運動遊びや身体活動をさらに取り入れ、楽しみながら経験を積める内容を充実させていく。
3	保護者との情報共有を大切にし、相談しやすい関係づくりができている。	ファミリーサポートの時間を設け、家庭での様子や悩みを共有し、家庭・園・関係機関と連携した支援を行っている。	引き続き保護者の気持ちに寄り添い、安心して相談できる支援体制を継続していく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や、他児との交流の機会が限られている。	個別療育を中心とした2時間クールの支援形態のため、地域や他児と関わる機会を設定しにくい。	保護者のニーズを踏まえ、可能な形で交流や情報提供について職員間で検討していく。
2	就学先との直接的な連携の機会が十分ではない。	小学校等との直接的な接点が少なく、園を通した情報共有が中心となっている。	園との連携を継続しつつ、必要に応じて就学に向けた情報共有の方法を検討していく。
3	地域に開かれた行事や保護者同士の交流の機会が限られている。	個別支援を重視した運営形態のため、集団での行事や交流の実施が難しい。	無理のない形での情報発信や、要望があった場合の交流の在り方について検討していく。